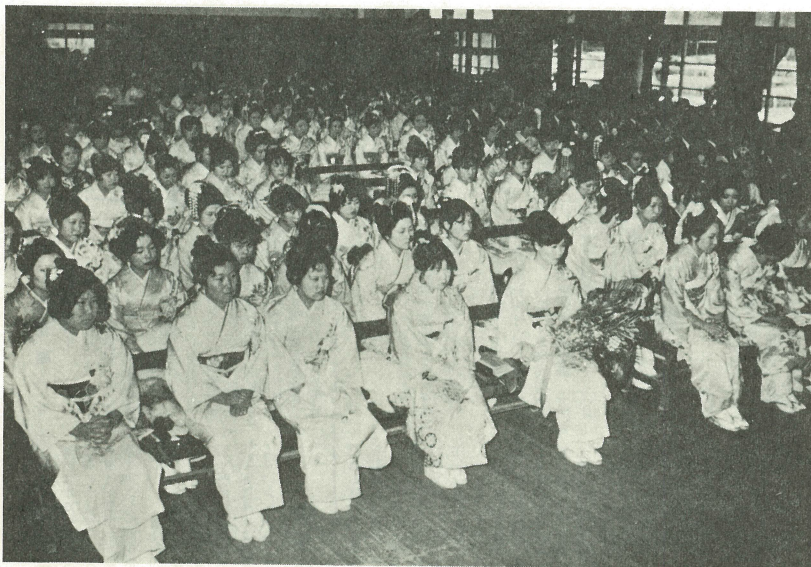




昭和47年1月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場 (毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可 一部 5円10銭



雨の中で成人式

今月の人口

総人口	26,573
男	13,181
女	13,392
世帯数	5,978

1月15日は成人の日、この日県内では、35,045人が晴れて大人の仲間入りをしました。

壬生町でも、第23回の成人式が午前10時から、557人の成人者を招いて、中央公民館で盛大に行なわれました。

この日、朝からあいにくの雨で、はだ寒い一日でしたが、会場にはやはり女性は和服姿が目立ち、強い雨に晴れ着を気づかっていた。

式には、町長はじめ来賓の方々から祝いと励ましのことばを受け、成人者は、「今後りっぱな社会人になります。」と祝福の中にも新成人としての誓いを新たにしました。



づくりに 懇談会ひらく

△町長▽
昭和四十七年度予算編成時期になり、限られた予算をみなさんからのご意見を聞いて、出来る限り町政に反映し充実した七年度にしたいと、考え、この町政懇談会を開いたのです。
どうか建設的なご発言をお願いします。

出席者
自治会長、民生委員、保健委員、老人クラブ、農事部長、

町政懇談会は、一月十日、十四日両日にわたり、壬午地区、福葉地区、南大鶴地区の三地区でそれぞれ開きました。
懇談会は、主催者として町長はじめ助役、収入役、教育長その他各課長、来賓者は各種団体の役員が多数出席して開かれました。
なお、この町政懇談会を開いた目的は、新年度の予算編成時期に、町民のみなさんのいろいろな要望を基に昭和四十七年度の予算をいっしょに計上してみようとの要望に応え、そして壬午町の発展のために開いたものです。
要望には、道路問題、学校教育問題、農政問題、社会福祉問題に集中されたようです。
なお、重複された件につきましては、省略しました。

△町道▽
△町道の整備、舗装をしてほしい。
△答▽①みなさんのご要望に応えられるよう新年度には十分検討します。ただ問題は、重要路線については、出来れば県の補助事業の対策を受けたらと思っております。
△町道▽①第一派出所の運動場を有効に使用するため、建物の配置を考えたらいかがですか。
△入所したい児童がまだ多数いるため、壬午地区にも一カ所の保育所を建設できるよう新年度予算に考慮されたらいいと思います。
△答▽①敷地の中央に建物が建つていないような現状ですが、これら配置を目下検討しているところであります。

②町の振興計画の中に昭和四十八年に建設しようとして十分検討をしております。
△町道▽自治会長の事務委託料を増額したい。
②就職のあつせんを栃木の安定所まで行かずに後場内に相談所を設置してほしい。
△町道▽①商店街の街路灯が最近非常にいたんでいるため、新設に当たって町の助成を希望したい。
②中央公民館が劣化しているため、総合会館として広く利用できる場として新設され、その内部に商工会の事務所も置くよううかがい。
△答▽①年々少量の増額はしておりますが、しかし実際には、満足される数字でないことは十分承知しております。十分検討します。
②今後、安定所等の関係機関と相談して検討します。
③町として出来るものなら十分検討して行きます。
④商工会館の建設について商工会の方が長い間資金の積立をしていくとのことで大変意欲的ですが、これが建設のために努力されていることはよく理解しております。
産業会館なり公民館を含めての総合会館を造るべきだという大変建設的なご意見ですが、勿論、これは町としても年次計画で十分検討してまいります。
△町道▽①ゴミを出す場所について、他県などでは取集場所を指定して建物を造つている。本町でも考え

△町道▽①商店街の振興策の中で今後地域を指定して商業診断をして行きたいのとですが、町として今後は中小企業課と商店のみなさんの方と連携をとりながら推進に努力します。
②人が車道を歩いているという現状で私も体験しております。これは県土木課へ非道を設置してほしいと要望を出しております。
なお、標識の設置等につきましては商店街でもあるので、商工会がリーダーになって総合的な視野に立って一日も早く解決されますようご協力ください。
△町道▽①教育機器の整備の予算を大巾に増加されたい。

明るい町 町政

△社会体育の振興を図るため、総合運動場を早期に設置したい。
△答▽①学校教育の近代化に伴って、やはり重要なことであり、振興計画の中にもある通り、四十七年の予算では是非やりたい、約三千万計画で整備したいと考えています。
②町全体のことであり、且下計画中です。
△町道▽①部落公民館を建設する場合、それに對する町の補助金はどのようにになっているか。
△答▽部落公民館の建設に對して町の補助金は、総工費の五分の一、最高限度額を五〇万円として補助してあります。なれ、年間三カ所にして予算を計上してあります。
△町道▽①イチョウ生産者から出る二一ルルの廃棄物が河川の汚染の原因に拮たれている。年間三、五〇〇万から四、〇〇〇万円が捨られると云われている。焼却するにも大量のため処分出来ず、燃やしても人害であるため、今後さらさらよいか考えて載きたい。
△答▽①ビニールの処理問題について

婦人会、教育委、青年団、選管委員、農業者委員、PTA役員、その他各種団体
では、どこでも困っております。特に、特殊な需要を造り、ビニールやプラスチックなどを焼却したいと年度の予算を検討しているところが多いです。しかしながら、生産者側とよく相談しまして、早急に解決策を立てたいと思っております。
△町道▽①壬午地区でも地下水の汚染が最近ひどくなり、これによって病気がかかつた人もいます。どうしたらよいか。
△答▽昨年より工事を進めている上水道事業は、水源地も決まり間もなく水道が各家庭に配水されます。問題解決は何んといっても飲料水であり、出来るだけこの水道をひいて戴き、利用されますようお願いいたします。
△町道▽交通指導員の増員を考慮して戴きたい。
△答▽県の補助金等の関係もあり思いますが、今後十分検討したいと思います。
△町道▽①災害復旧は、三年間に行なうと云われているが、今年度中に実施してほしい。
②福葉地区の道路整備事業は、市街化調整区域であるため、事業があとでないのであるが、事業が完了した後に災害復旧工事は実施する体制で進んでおります。

③三地区具体的にみるとう道路面
讀から比較するとやや均等の姿で整備されております。特に福葉地区は、旧道が多いので、消防車をよのよと通れるよう拡幅するよう推進してまいります。
△町道▽完全給食の促進をしてほしい。
△答▽給食センターの建設を町の振興計画にも取り込んであります。△町道▽耐震と年数の越えよう可搬式消防車を早くに新調されたらいいと思います。
△町道▽消防車の整備については、他の事とは異なるものですが、今後十分検討を重ねてみます。
△町道▽町の青年資金の制度がどのようにできているのか、その運営をどのようにやっているのか。
△答▽元々、福葉地区の小学校にた阿久津謙二氏が福中から高校に進学する優秀な生徒に對して教育資金に三二十万円を寄附されました。これを元金として利息をもつて運営されております。町全体としては、故佐藤鶴七町長が百万円の寄附があり、これを「佐藤鶴二資金制度」と名づけ、現在壬午地区二名計六名の高校生に對して教育費として支給しております。
なれ、壬午町出身の方で、内山武十郎氏、元壬生小校長茅島氏が一百万円の寄附を戴き合計元金一十万円になっております。

△町道▽防犯灯の設置はどうかしたらよいか。また、電気料の負担はどうかになっているか。
△答▽①四十五年の自治会長会議で申し合せして決まらした事で設置については、部落申請によって年間十千灯の設置を正常化しております。そして新設については、町が一灯につき三千円の補助を行なっております。
②電氣料は、四十五、六七年の三カ年間は半年間の電氣料の二分の一を補助しております。なお、四十八年度からは町の補助金もなくなり、各部落で負担されます。町では設置については金額を負担し、申請場所全部に設置出来るようにしたいと考えています。
△町道▽九月十五日は老人の日です。その日九月いっぱい老人たちに無料で解放してほしい。
△答▽建設資金の導入の問題も条例その他の問題とありますが、その下で検討して出来るだけ実施したいと思っております。
△町道▽①安塚を通るバイパス道路はどのようになるのか。
△答▽県道宇都宮線、栃木線のバイパスは、県の事業で実施する予定ですが、この実施に当たっては、地元のみならず県にもお願いいたします。今後上乗せをお願いいたします。ご理解とご協力をお願いします。
△町道▽町営の火葬場を建設されたらいい。
△答▽この件については、予算も莫大にかかるので、近代的な設備が望まれ、町として、単独でなく、近隣市町村と共同で建てたい広域的に考えてみたいと思ひ現在検討中です。



(花づくり)
羽生田小学校にたまたますばらしい環境づくりが実現しました。
通学路の両側にこれらの花壇がお目見えしたのです。
これは県や町の協力を受けて青年たちが汗を流して、昨年の秋に作りつけたのです。ここには季節ごとに美しい花が植えられる予定です。今は寒さに強くお正月の花といわれる葉ボタンが美しい姿をみせています。
子どもたちはもちろん、通りがかりの人が思わず足をとめてじっと楽しんでくたさる風景が毎目見られます。
水をやったり、虫をとったりするのは、子どもたちがやっています。

団地で野菜即売会

羽生田四Hクラブ

羽生田四Hクラブ(会長山名幸、ハクサイ三、東八十門など、市男)では、羽生田青年団の協力を、師より二、三割安、中には半値の得で、十月二十六日(宇都宮市)では大半を売り尽くすという盛況で、野菜の即売を行ない大変好評を得りだした。

この即売会は、十月に一回行なうため、団地の宣伝は十ラブの存在を広く一般にPRする分、開店時刻の十時前にすでに、ためものですが、日ごろ野菜の百人ほどの列が出来た、大きめの値上がりに神経をとがらして、主婦たちには予想以上の好評。



これら四Hクラブの活躍は、クラブ員自身の意識の高揚と四Hクラブの存在を広く一般にPRする目的のもので、日ごろ野菜の百人ほどの列が出来た、大きめの値上がりに神経をとがらして、主婦たちには予想以上の好評。

昭和四十七年一月一日から壬生町内に住所を有する満七十歳以上のおととしに対して(医師にかかるときは医療費(一部負担金)を全部町が支払う様になりました)そして、壬生町の医師にかかるときは、国民健康保険法に規定する被保険者及び社会保険各法の規定による被保険者に限ります。また、これから満七十歳になられる方は、保険証と印かんを持って役場住民課または支所に老人医療費受給資格申請して受給資格証の交付を受けてください。

老人のみなさんへ

支払を受ける方式ですが、これでは受診受療のたびと皆さんに大変ご苦労をかけることになり、壬生町医師会の先生がた話して合つて絶大な協力を得ました。そして、壬生町の医師にかかるときは、国民健康保険法に規定する被保険者及び社会保険各法の規定による被保険者に限ります。また、これから満七十歳になられる方は、保険証と印かんを持って役場住民課または支所に老人医療費受給資格申請して受給資格証の交付を受けてください。

百歳おめでとー
鈴木ヨシさん
原野の鈴木ヨシさんは、今年満一〇〇歳を迎え、このほそのお祝いも自宅で行なわれた。鈴木さんは、明治五年十月六日現在の家に生まれ、二十二歳で婿となり、現在子三人、孫二十一人、ひ孫十五人、玄孫やしゃ(ご)一人おり、町ではもちろん最高齢者で、県内でも指の長寿となっています。

雨にも負けず神社清掃

上田の仲好会

上田の仲好会(発起人垣大垣キヌ)は、毎月初三日、毎月初三日曜日の夜、毎月第一日曜日のために、雨にも負けず、神社境内の清掃をやっています。この会は、上田東金剛地の約二十戸のうちの奥さんたちが、四十五年八月から清掃の奉仕を始めました。現在でも続けてやっています。



清掃する仲好会の人たち

寒さにめげず 少年剣士寒稽古

一月十六日少年剣道教室(この間、同育成会長、小野保蔵三、藤吉納会、中央公民館、町長、教育長、警察派出所長など青少年関係有志および石橋少年剣道クラブを招待して盛大に行なわれました。本教室は、昨年三月、三上義市氏が自衛官定年退官を機に次期世代を担う少年剣士に剣道の道を通じ、よい人材育成し、青少年の不良化防止に寄与しよう、今日まで献身的な努力が実ったもので、

水道配水管工事について

南部配水区(旧壬生市街)内の配水管布設工事については、すでに町政だよりなどでお知らせしておりますが、皆さんのご協力によりまして、計画通りに着々と進行して、新年早々から今年引続いて、新年早々から町内各所において工事を始めました。ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解をお願いいたします。

子どもたちに

将米有為な人になって欲しいと激励を受け、約三十名の豆剣士と、真新しい防具を備へ、三上義市氏のお母さんたちから前出て演技の後、サンタのおじさん出現に子どもたちは大喜びで、

2月の納税

お忘れなく
固定資産税 第4期分
国民年金 第4期分

実績発表会ひらく

町青年クラブ協議会では、一月十三日、役場会議室において実績発表大会を開催しました。この大会は、郡大会予選も兼ねた日頃のプロジェクト活動を通じて、農業及び生活上の課題に取り組んでいる経過や、成果を発表し、互いに検討し合い、今後のクラブ活動の充実を期することを目的として開かれました。

歳末助け合い募金

一〇〇〇円
九〇〇円
八〇〇円
七〇〇円
六〇〇円
五〇〇円
四〇〇円
三〇〇円
二〇〇円
一〇〇円

お知らせ



職員募集

役場では、次の要領で運転手および学校公仕を募集します。
①資格 年齢五十歳以下で大
②免許 運転免許を有する者
③年齢 年齢五十五歳以下でなるべく住込みの者
④採用人員 運転手、公仕とも一名
⑤手続書 履歴書、住民票控え、健康診断書を持参のうえ、役場総務課まで

体談談募集

あなたが家評簿を通じて体験し感じられたことありのまま文章につづって応募ください。
①主催 時香増強中央委員会、県時香推進委員会
②後援 N.H.K.
③原稿 四百字結原稿用紙五枚以内、そのほか簡単な表

学生寮入寮者募集

栃木県青年会では、四十七年度学生寮入寮者を募集しています。
①寮の所在地 東京都目黒区大橋二丁目二十番十号 国鉄渋谷駅下車、井の頭線駒込東大前下車、約四百メートル、バスの便あり
②募集人員 男子学生 約四十五名、女子学生 約二十五名
③経費の負担 家賃(寮費) 年額一万二千元、附費及び雑費 月額六千五百円

お知らせ

二月の日程 祝日は次の医師以外は全部休診になります。
日 時 壬生(四時まで) 南犬飼(午前中) 須葉(午前中)
六日 陣内 医院 佐藤 医院 渡辺 医院
十一日 前原 〃 島田 〃
十三日 早川 〃 島田 〃
二十日 小倉 〃 佐藤 〃
二十七日 木村 〃 島田 〃

休診のお知らせ

二月の日程 祝日は次の医師以外は全部休診になります。

日	時	壬生(四時まで)	南犬飼(午前中)	須葉(午前中)
六日		陣内 医院	佐藤 医院	渡辺 医院
十一日		前原 〃	島田 〃	
十三日		早川 〃	島田 〃	
二十日		小倉 〃	佐藤 〃	
二十七日		木村 〃	島田 〃	

学生寮入寮者募集

栃木県青年会では、四十七年度学生寮入寮者を募集しています。
①寮の所在地 東京都目黒区大橋二丁目二十番十号 国鉄渋谷駅下車、井の頭線駒込東大前下車、約四百メートル、バスの便あり
②募集人員 男子学生 約四十五名、女子学生 約二十五名
③経費の負担 家賃(寮費) 年額一万二千元、附費及び雑費 月額六千五百円

スキー教室開設

壬生町体育協会では、初級中級者向けのスキー教室を次のとおり行ないます。多数ご参加ください。
①期日 二月二十七日(日) 日帰り
②場 所 鷲頂山スキー場
③参加料 六〇〇円
④定員 男女 五十名
希望者は、二月十九日までに参加料を添えて教育委員会内体育事務局まで申込みください。

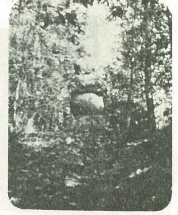
善意銀行

壬生町万町の壬生小学校一年生 篠原尚代さんは、善意銀行へ金一、六〇〇円を寄付されました。



名所巡り

朝比奈三郎義秀の墓
壬生町大字上田字朝比奈三郎義秀の墓。南犬飼地区、なかんずく北小林と上田には、朝比奈三郎にまつわる伝説が多い。



朝比奈三郎の墓
名も朝比奈三郎の墓がある故と信じている。その墓の正面井川に掛る橋は別れ橋といふ橋名がつけられている。朝比奈三郎が部下と一緒に此の橋を渡る時、偉人朝比奈三郎の重みで崩れたからと云うのである。

朝比奈三郎といふ人はどんな人だったのかわからない。確かに実在した人物である。鎌倉幕府の陸軍大臣とでも云う可き和田義盛の三男坊である。頼朝生中は敬動だにしながら鎌倉幕府も頼朝に継ぐ幕府の人物がなくて頼朝朝臣政子が幕府を平していた。政子は北条氏であり執権職は代々北条氏から出たので、頼朝以来の旧臣の中には北条氏を退けて源氏の

正統が幕府要の地位に据る可きであると考えて反北条氏的な考えを持つ人も少なくなかった。二代将軍頼朝は北条時政の手の者によって修善寺で浴中に殺され三代実朝は右大臣頼朝の掃討勅命八幡宮の石段の側で刺客(公敵)に襲われ暗殺された。斯うして源氏の正統が絶えた後誰が鎌倉幕府を支えるかは明らかでなく実朝が三代将軍になった時未だ十二歳だった。たので、尼将軍政子の父時政は大江元と自分に政所別当となつて、実朝を自分の邸に

朝比奈三郎の墓 迎え入れられた。義秀の墓から見て、朝比奈三郎は義秀の分一人の名前を下部に命を下部に

時政は斯うして実朝の後見役となり、実朝をロケット化した。然しこの時政も平賀朝雅を將軍に立て、実朝を殺すとした事が露見され、伊豆の山奥に閉じこめられた。この頃迄には侍所別当攝關時比企能員、新田忠常等源家旗本当時の元老宿将大方病没しては減亡して終つた。北条氏に反対できるのは和田義盛、三浦義村、小山朝政ら僅か数人に過ぎない。(次号へ続く)「筆者大垣」

お知らせが、おくれますから、早く配布しましょう！